

146 東京法学院討論会

〔『法学新報』第一一九号 明治三十四年二月二十日〕

○東京法学院討論会

本月十七日東京法学院第三講堂に開かる出席者凡そ七百余名、
出題者法学士岡實氏出席あり議長席に着き『軍法會議は裁判所
なりや』の問題に付て討議を試む積極論者総て六名、山田辰之
進、秋田弘、石毛廣治、山本宮市、谷繁始、下森久吉の諸氏な

り消極論者は総て七名、山口兼良、小畑哲五郎、關戸龜次郎、伴善光、佐山專助、江波戸龜二及び院友弁護士岡磐三の諸氏なり尚ほ岡法学士の説明は本誌次号論説欄内に掲載すべし